

西条市水道事業における 料金改定の必要性について

令和7年6月25日開催 第1回使用料等審議会
西条市環境部水道業務課



「今後の水道料金については、西条市水道事業経営戦略に基づく4年ごとの料金の見直しを行い、持続可能な水道事業経営に努められたい。」

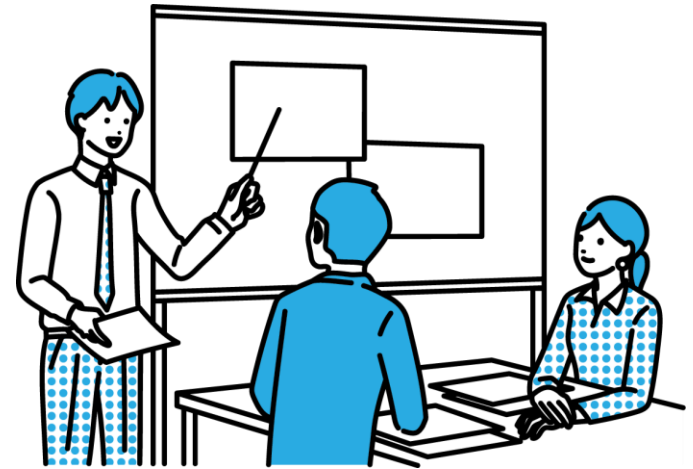
西条市使用料等審議会『水道料金の改定について（答申）』（令和3年8月24日付）より

目次

- 1 西条市水道事業について
- 2 現在の経営状況について
- 3 今後の経営予測について
- 4 料金改定の必要性について

本日の 審議内容

◆水道料金の改定は必要か



目次

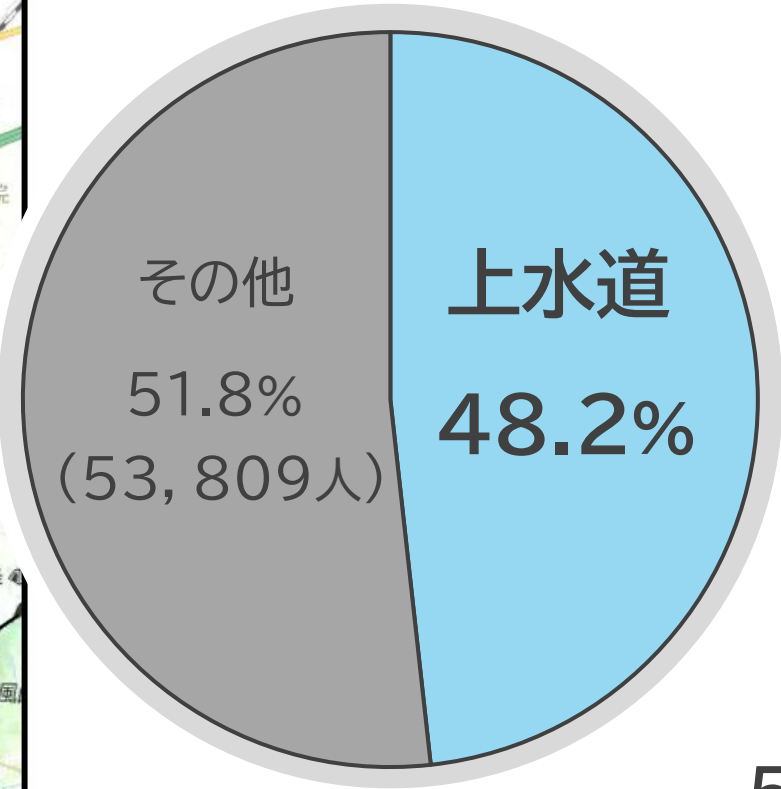
- 1 西条市水道事業について
- 2 現在の経営状況について
- 3 今後の経営予測について
- 4 料金改定の必要性について

西条市水道事業の概況①（給水区域及び給水人口・割合）

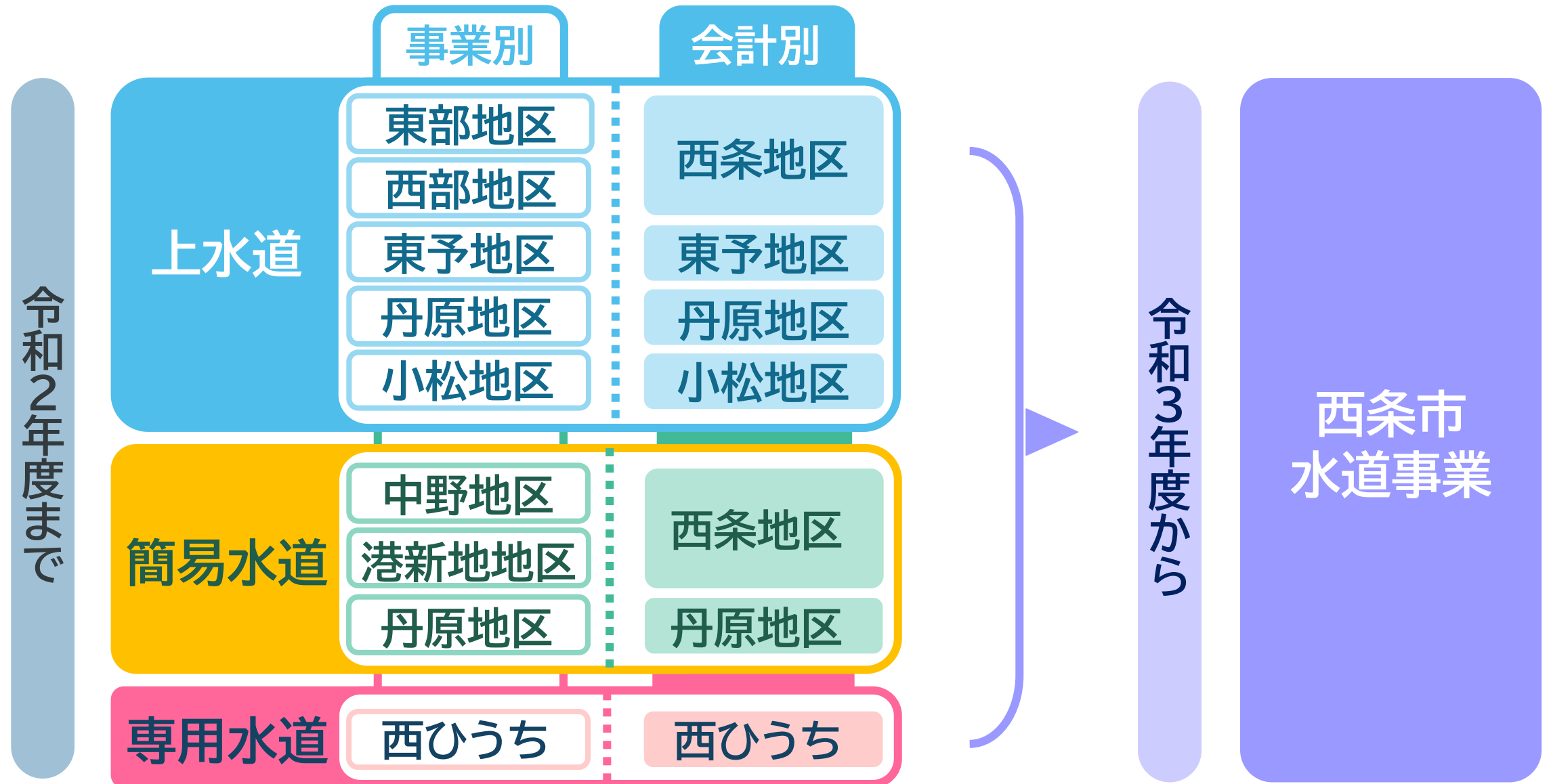


給水人口(R6.3.31現在)

50,163人



西条市水道事業の概況②（事業統合）



水道料金について①（現在の料金表）

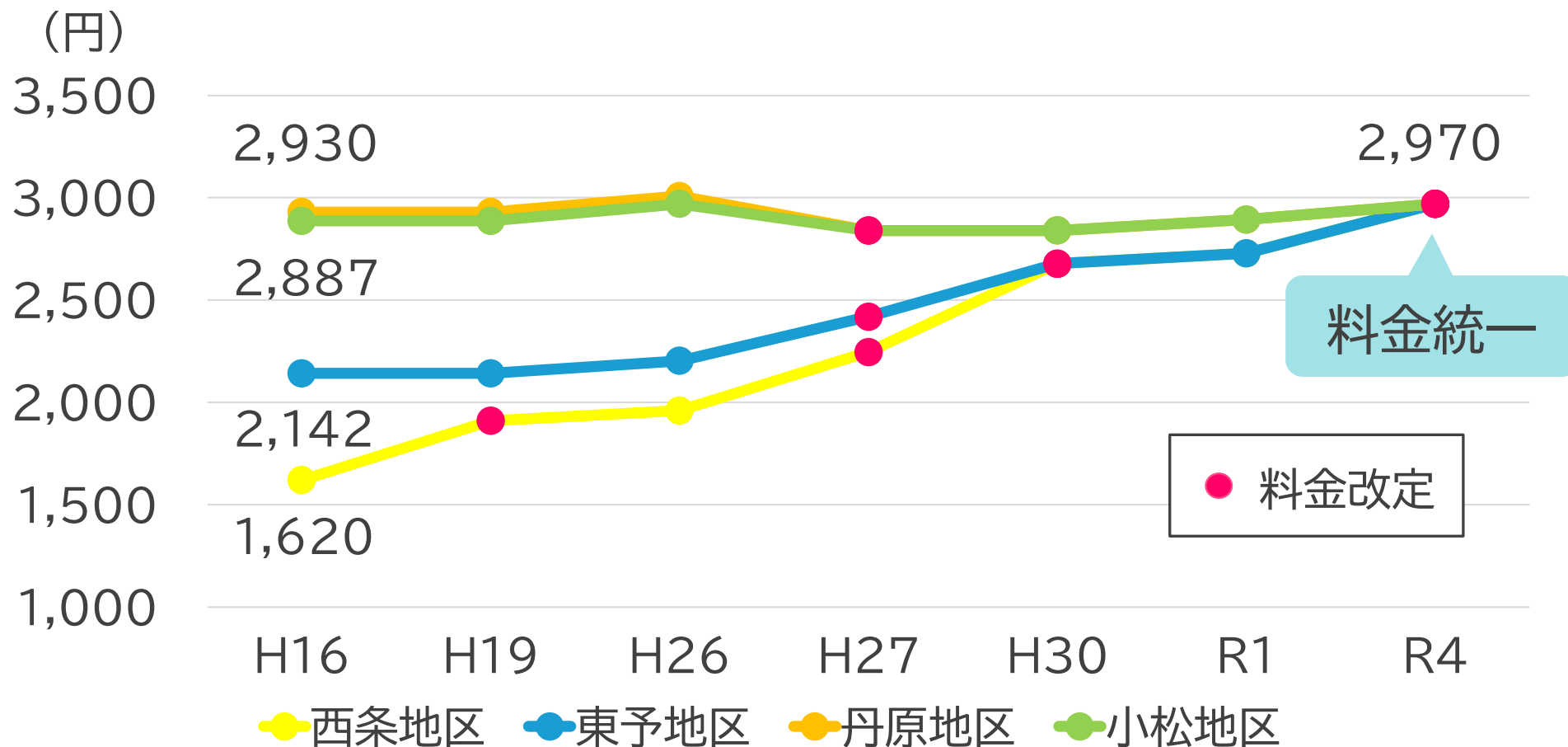
令和4年6月請求分(4・5月使用分)から適用 (1か月あたり、税抜)

メーター口径	基本水量	基本料金	従量料金(1㎡あたり)		
				一般用	公衆浴場用
13mm	8㎡まで	900円	8㎡を超えるもの	150円	120円
20mm		990円			
25mm	10㎡まで	1,360円	10㎡を超えるもの		
30mm		1,760円			
40mm		2,250円			
50mm		3,700円			
75mm		4,400円			
100mm		5,300円			

水道料金について②（料金改定のあゆみ）

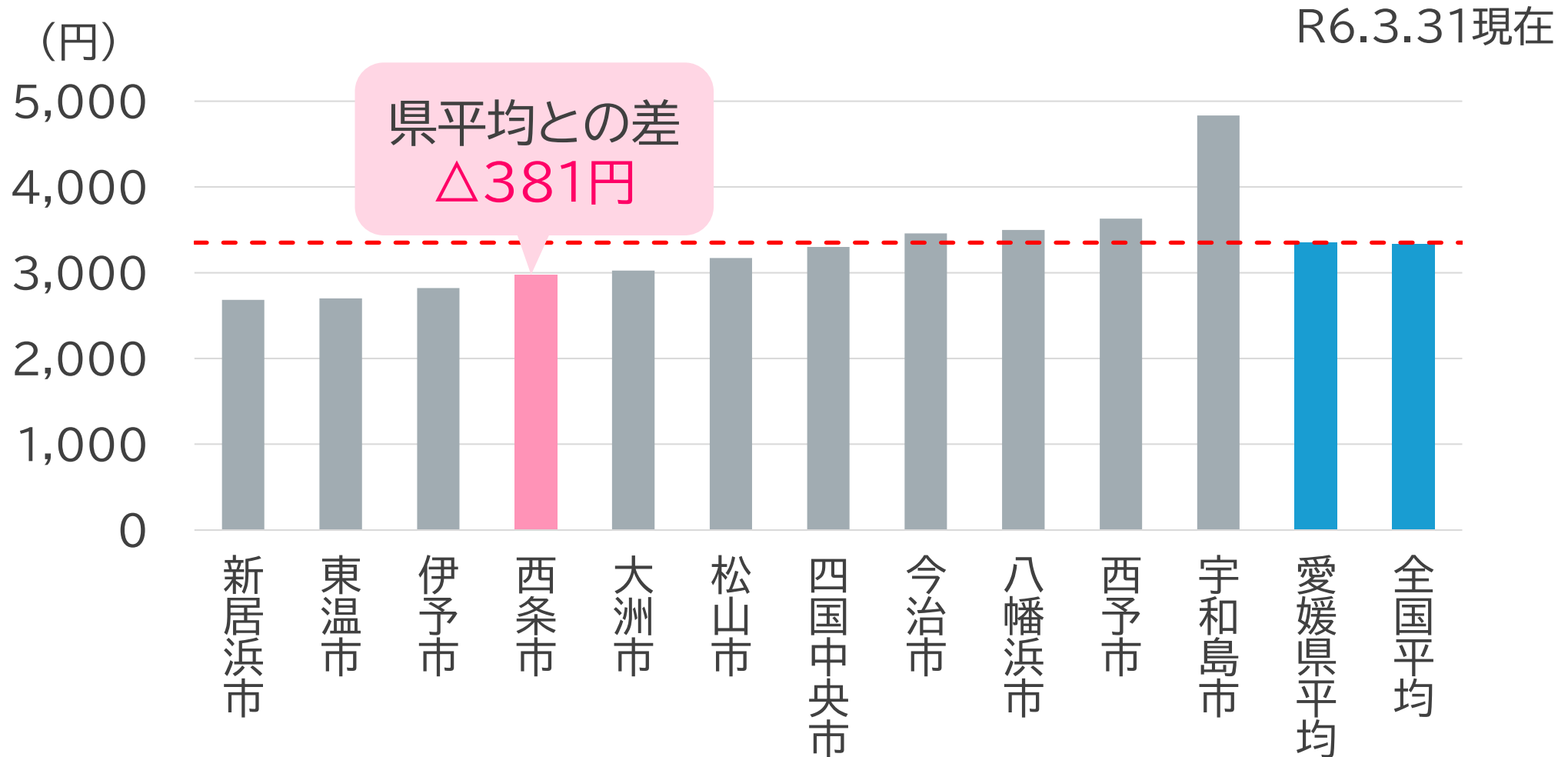
合併時、旧2市2町の体系を引き継いだ水道料金の統一を達成

● 1か月あたり水道料金（口径13mm、家庭用、20m³使用、税込）



水道料金について③（県内11市の料金比較）

● 1か月あたり水道料金(口径13mm、家庭用、20m³使用、税込)



出典:総務省「地方公営企業決算状況調査」

目次

- 1 西条市水道事業について
- 2 現在の経営状況について
- 3 今後の経営予測について
- 4 料金改定の必要性について

地方公営企業について①

西条市水道事業は、
地方公営企業法に基づいて設置された地方公営企業です。

○ 地方公営企業法 第3条(経営の基本原則)

地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

○ 地方公営企業法 第21条(料金)

地方公共団体は、地方公営企業の給付について料金を徴収することができる。料金は、公正妥当なものでなければならない、かつ、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができるものでなければならない。

地方公営企業について②

一般の行政機関との違いは？

一般の行政機関では税金で経費を賄っています。それに対して、地方公営企業は、原則として、民間の会社と同じように『独立採算』で経営されています。従って、水道事業では水道料金の料金収入で経費が賄われています。

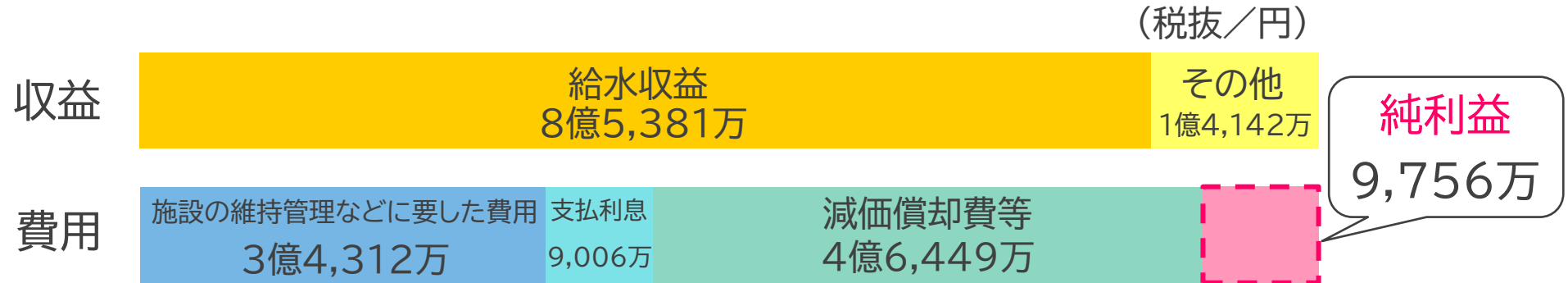
公共性と経済性は両立できる？

経済的かつ効率的な経営を行うことで、サービスの質を高め、適正な価格で安定したサービスを提供することが、市民の快適な生活につながる公共性を実現します。

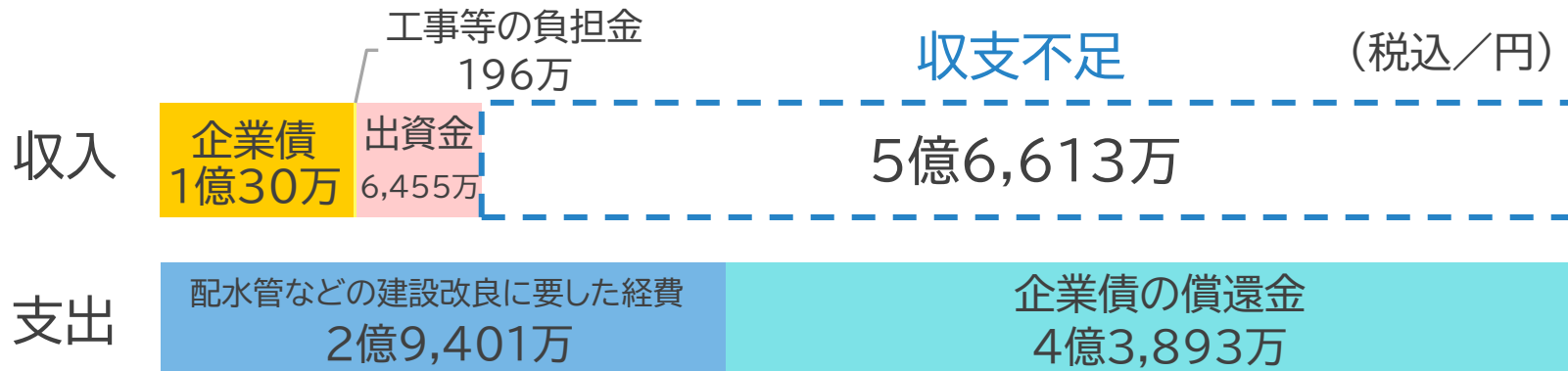


西条市水道事業の財政状況（令和5年度決算）

①給水するための経費とその財源（損益計算書）



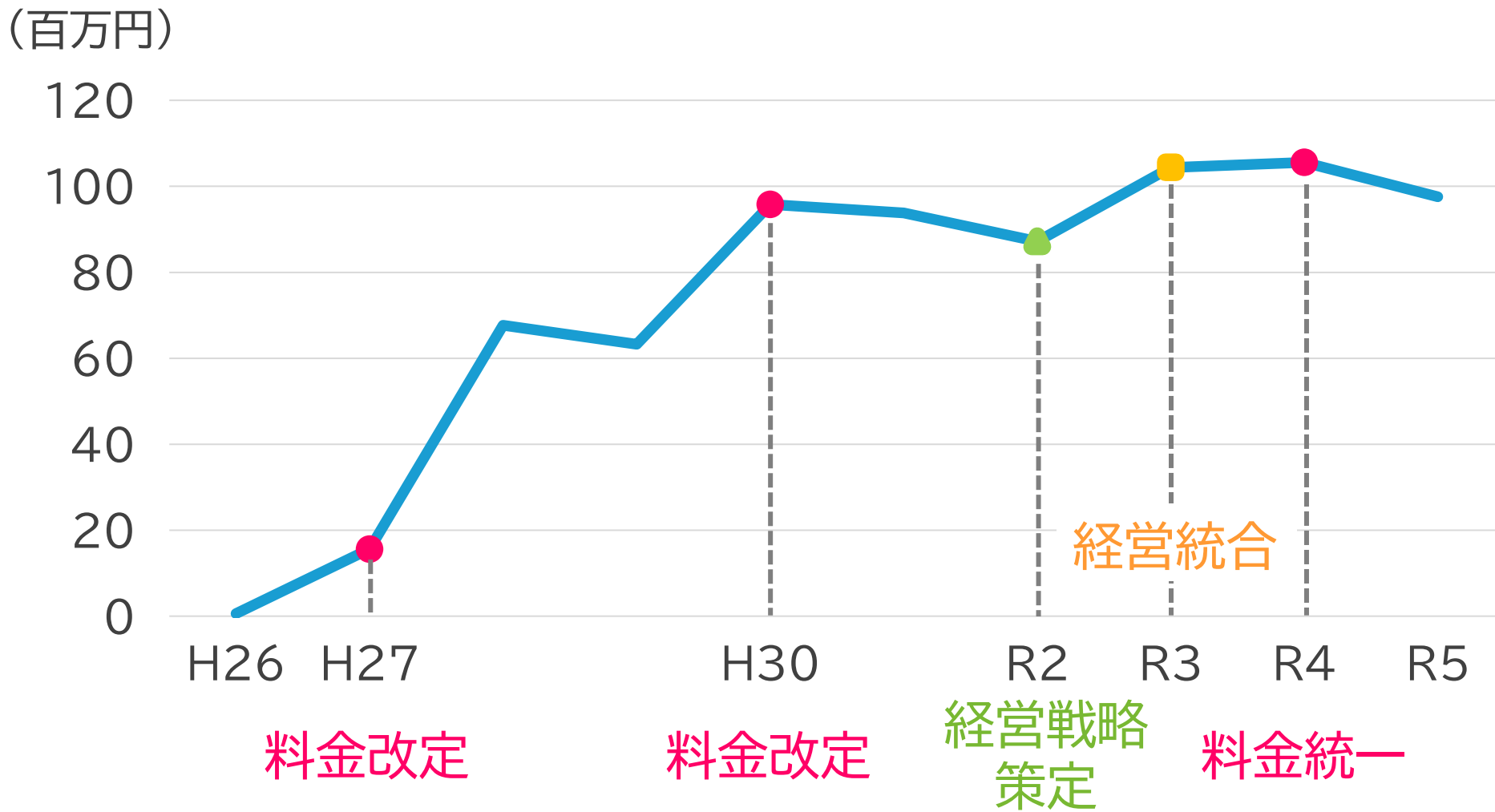
②水道施設を整備するための経費とその財源（資本的収支）



※収支不足は内部留保資金で補填

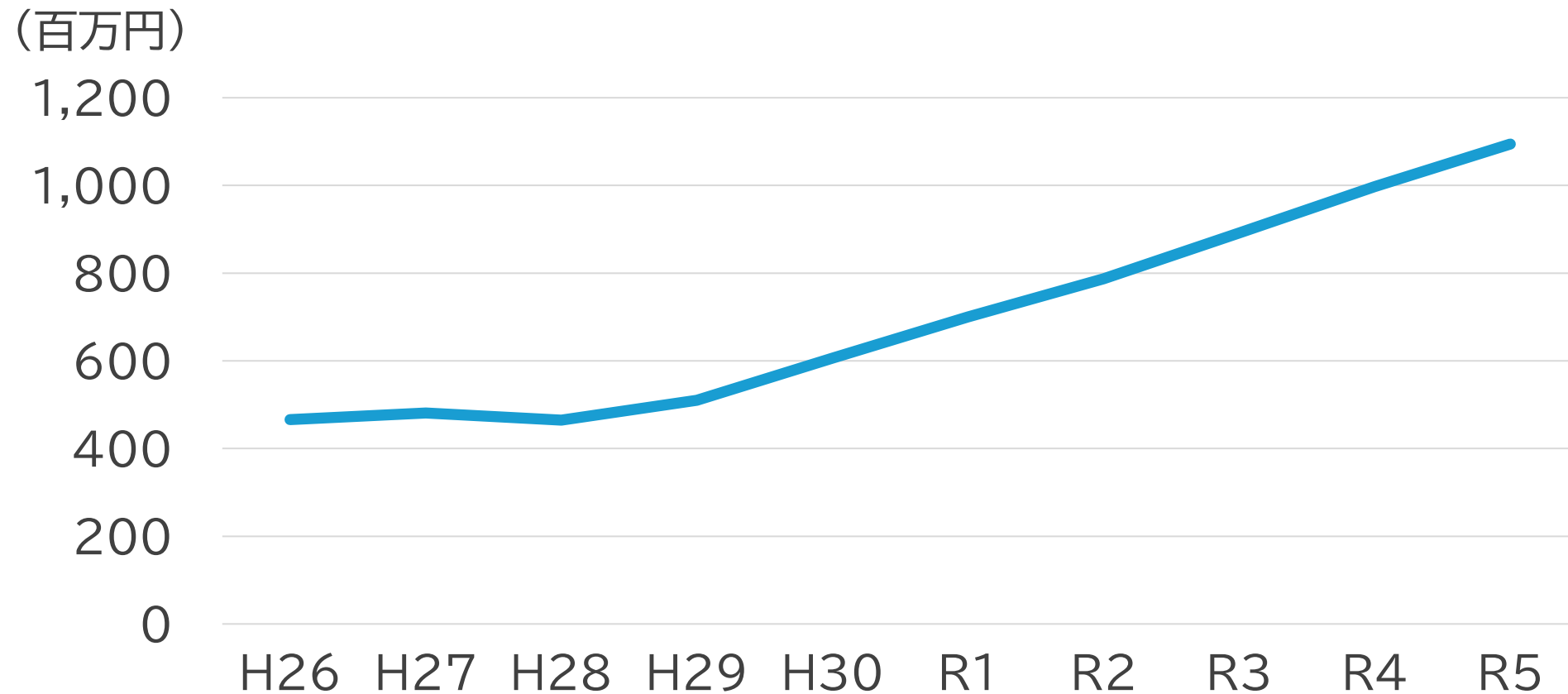
経営基盤強化のための取り組みと当期純利益の推移

さまざまな取り組みにより経営基盤の強化を進めてきた



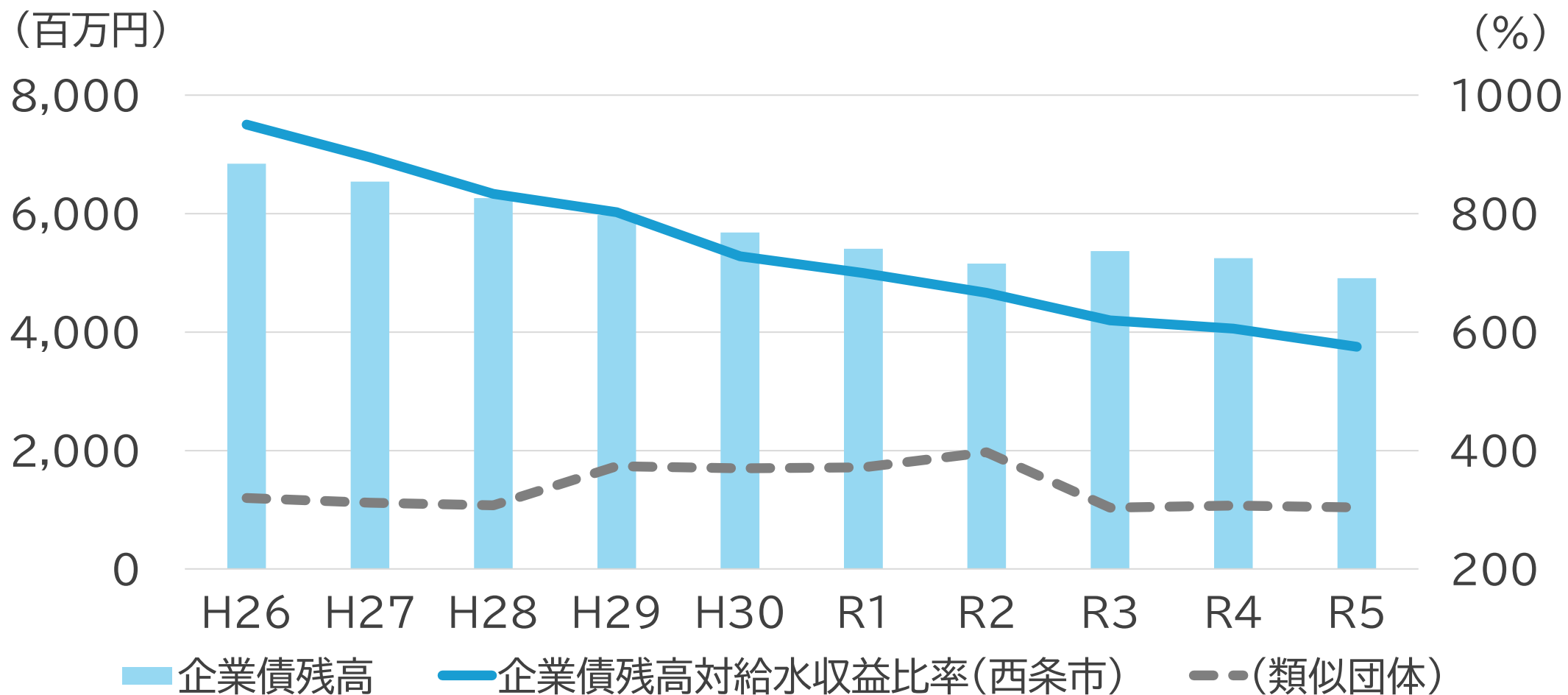
利益剰余金の推移

健全経営の実現により、現状は利益を積み上げることができている



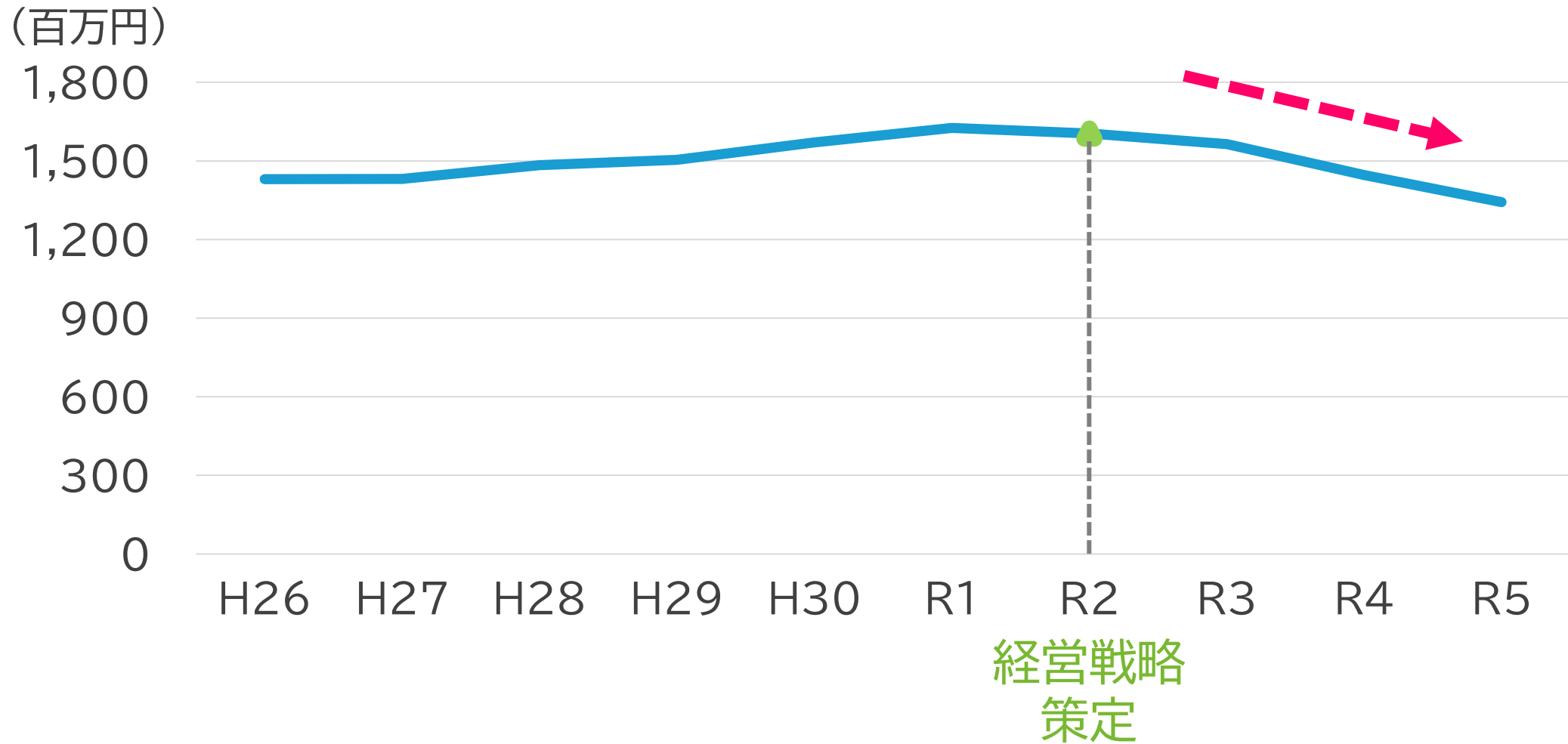
企業債残高と企業債残高対給水収益比率の推移

企業債に依存した経営からの脱却を目指して取り組んでいる



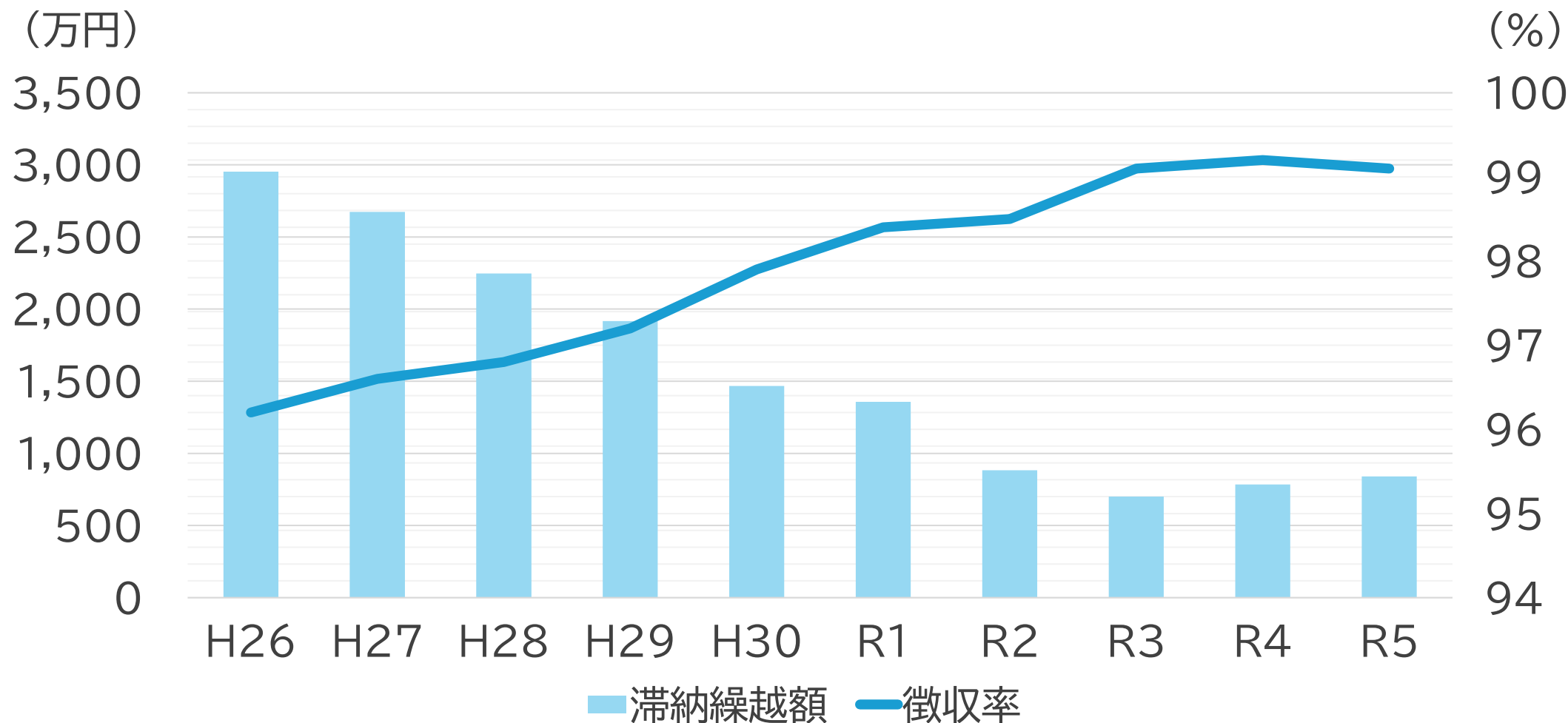
内部留保資金の推移

企業債残高対給水収益比率改善の取り組みにより減少



水道料金の徴収率と滞納繰越額

滞納整理を強化し、収納率の向上と滞納額の縮減に取り組んでいる

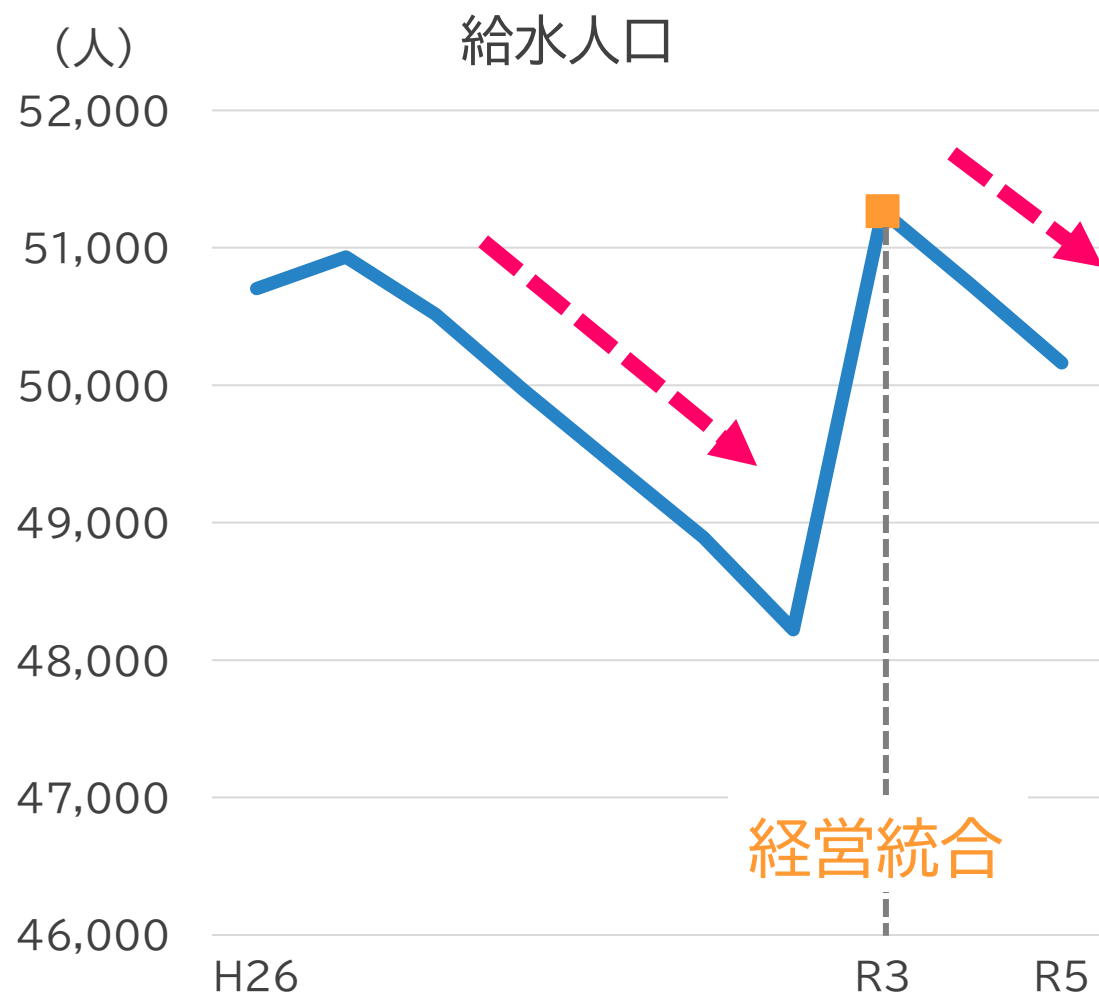
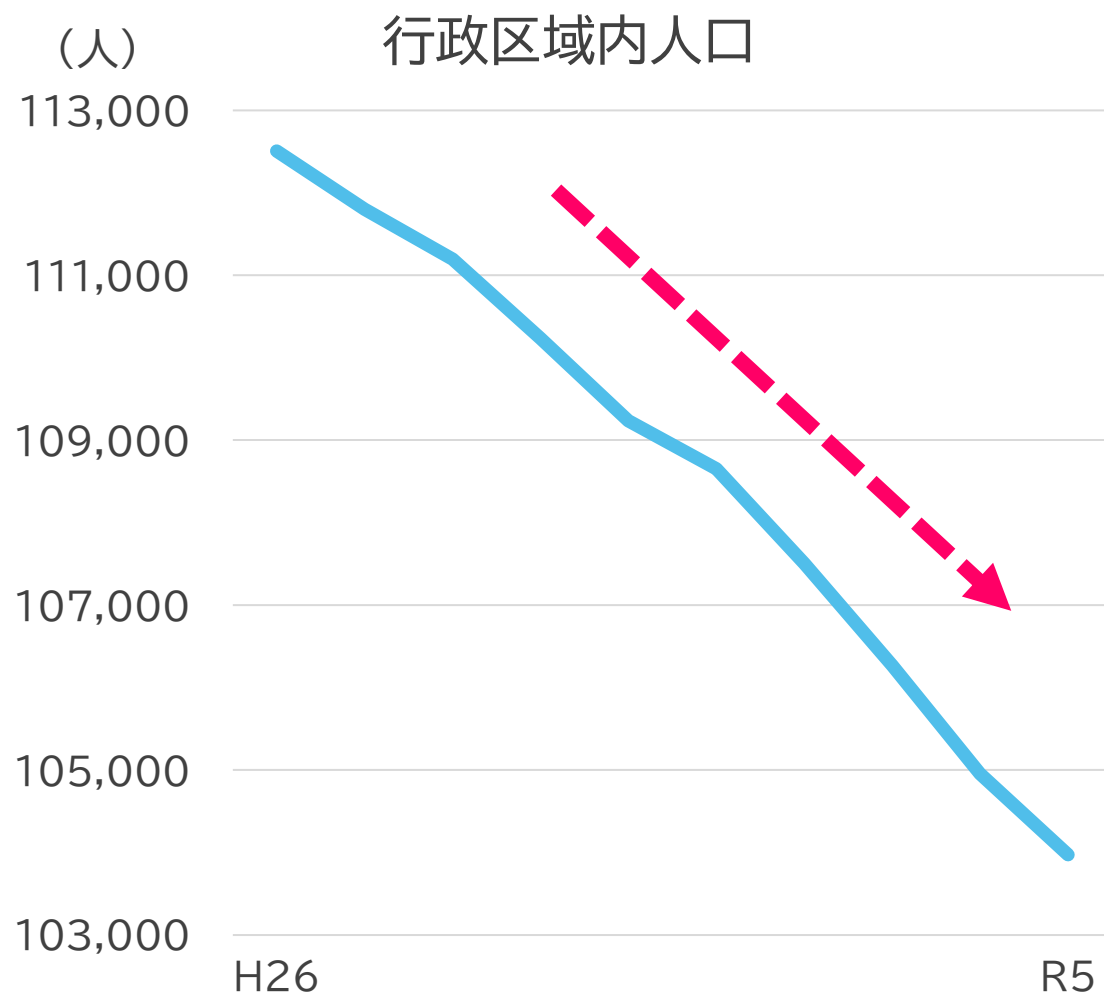


目次

- 1 西条市水道事業について
- 2 現在の経営状況について
- 3 今後の経営予測について
- 4 料金改定の必要性について

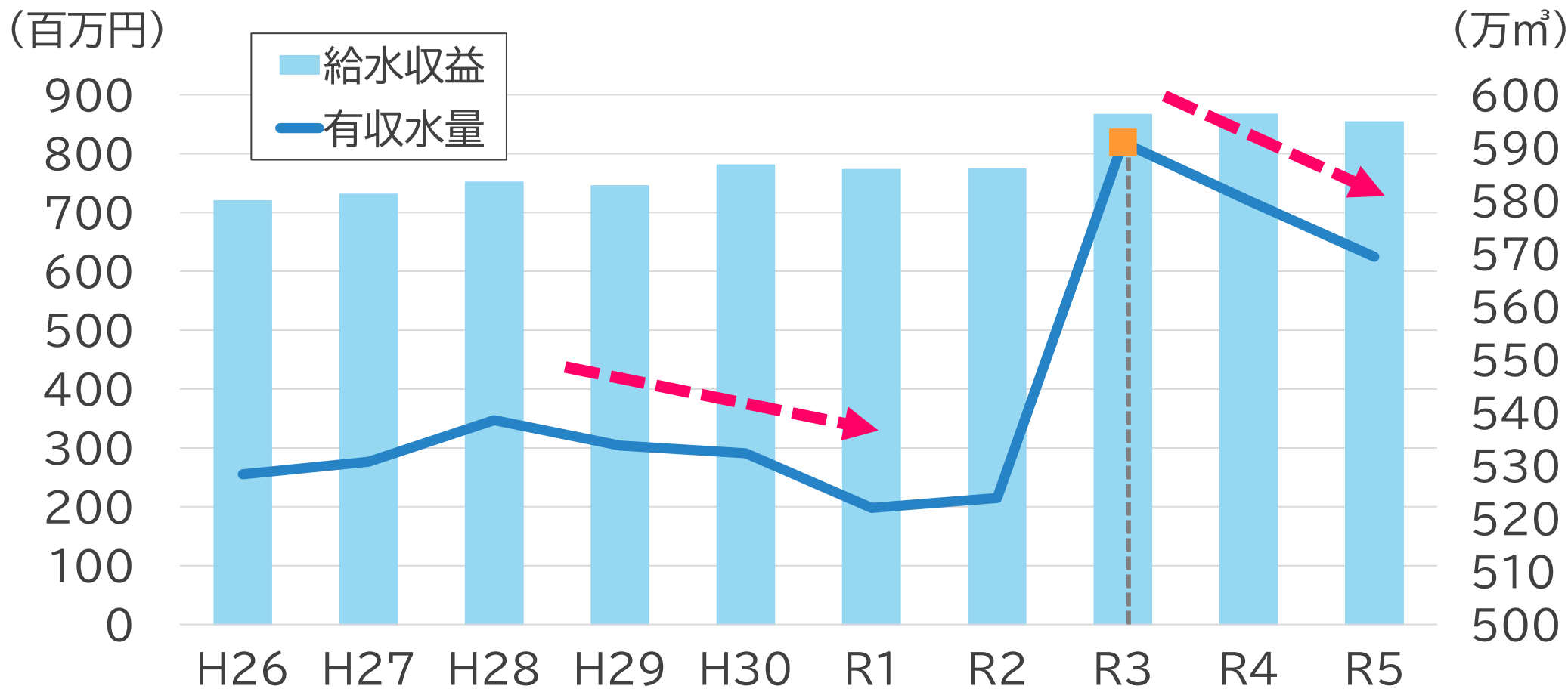
給水人口の推移

行政区域内人口の減少に伴い、給水人口は減少傾向にある



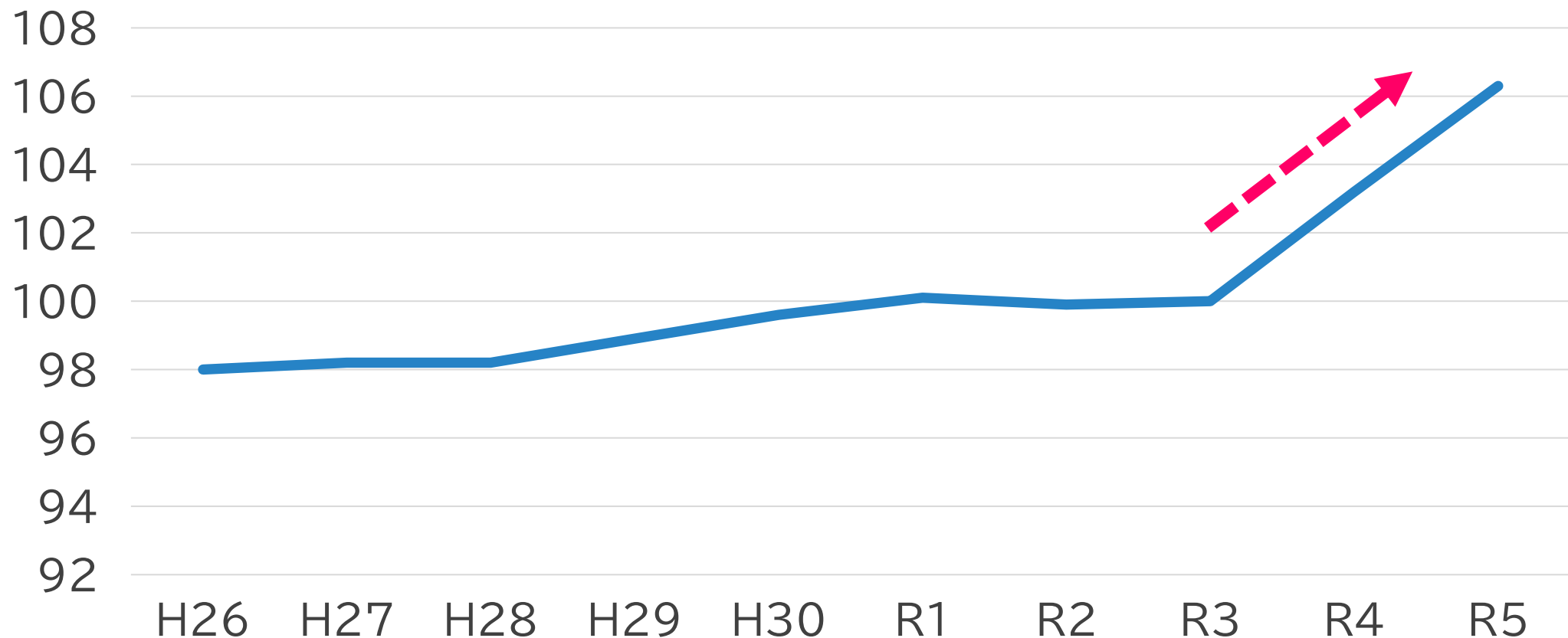
有収水量と給水収益の推移

給水人口減少や節水技術向上による有収水量減少 ➡ 給水収益減少



消費者物価指数の推移

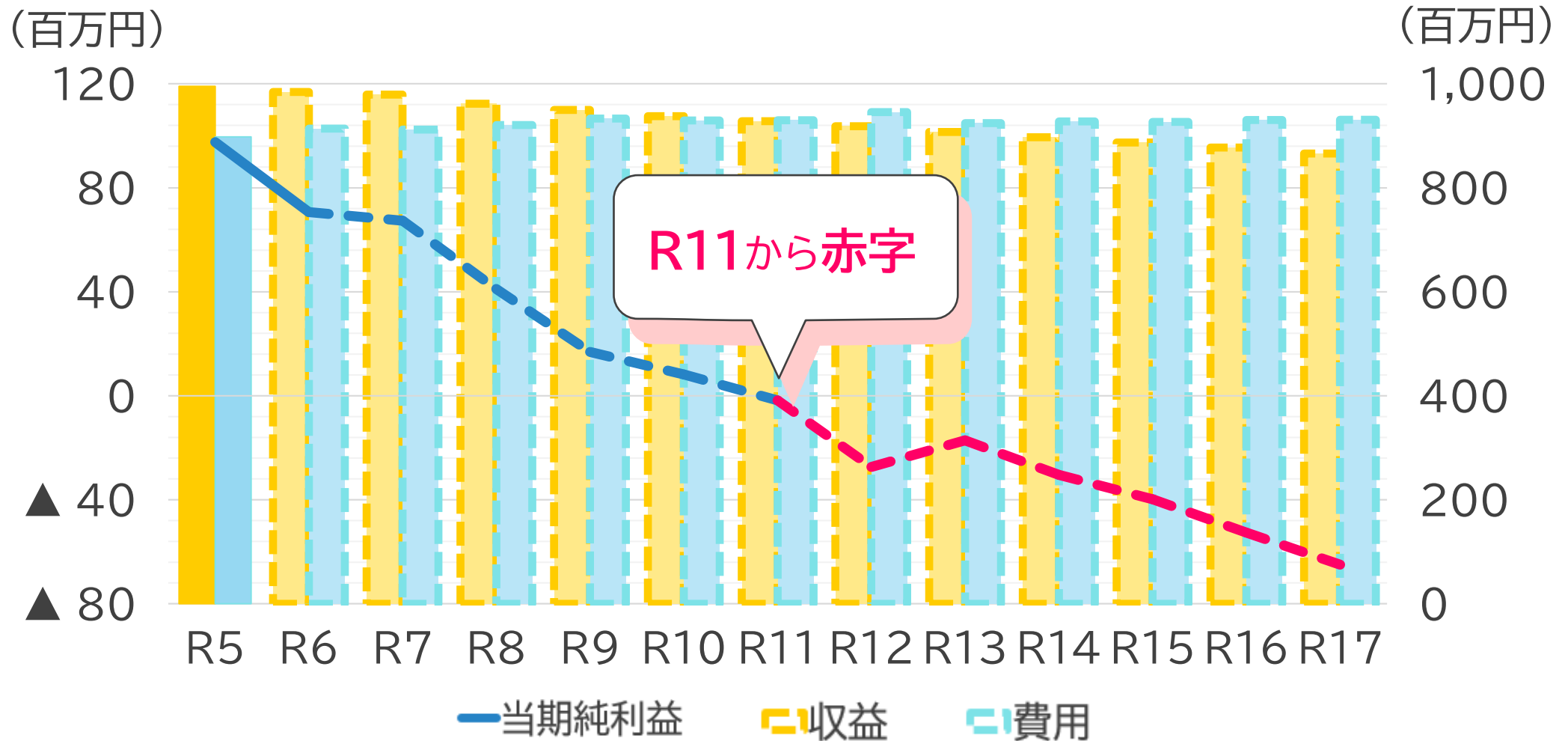
近年見られる急激な物価上昇に伴う費用の増加が懸念される



出典:総務省「2020年基準消費者物価指数」

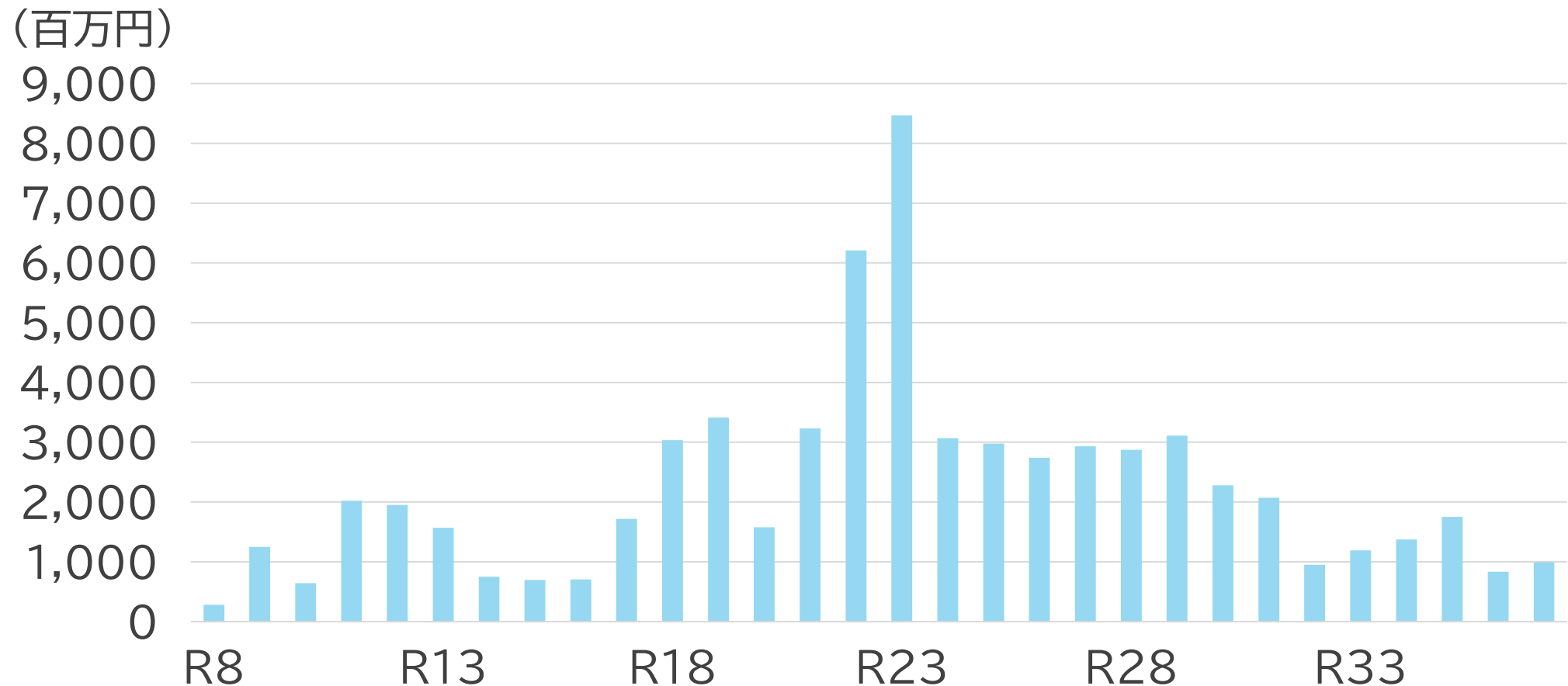
当期純利益の推計

収益の減少と費用の増加により利益は減少していく見込みである



将来の施設更新費用

管路等の施設を法定耐用年数で更新した場合、
今後30年間で**約666億円**の更新費用が必要となる



目次

- 1 西条市水道事業について
- 2 現在の経営状況について
- 3 今後の経営予測について
- 4 料金改定の必要性について

料金改定の必要性

①給水するための経費とその財源の確保における課題

- 収益面：人口減少などに伴う有収水量の減少による**収益の減少**
- 費用面：物価高騰に伴う施設の維持管理などの**費用の増加**

②水道施設を整備するための経費とその財源の確保における課題

- 収入面：**企業債に依存しない経営**を目標とした取組の継続
- 支出面：将来の**施設更新に必要な費用の確保**



適正な料金水準の確保が必要



料金改定に向けた取り組み①（答申までのスケジュール）

	第1回 審議会	第2回 審議会	第3回 審議会	答申
開催日	R7.6.25	R7.7予定	R7.8予定	R7.8予定
テーマ	料金改定の必要性について	料金改定案等について	答申書について	—
審議内容等	現状と課題の確認の後、料金改定の必要性について審議する	適正な上水道料金及び黒谷水道手数料について審議する	答申書の内容について審議する	市長へ答申する

料金改定に向けた取り組み②（改定までのスケジュール）

